

第5回 防府市社会教育委員の会議 会議録

日時：令和7年5月12日（月）午後1時30分から午後2時25分まで

場所：笑顔満開通り ルルサス文化センター 交流室1

出席委員：渡邊委員（委員長）、長岡委員、森原委員、吉井委員、藤井委員、重富委員、
山野委員、清水委員、宮木委員、竹内委員、光田委員、田村委員、井上委員

欠席委員：弘中委員、門田委員、堀委員

【全体会】

- 1 渡邊委員長あいさつ
- 2 江山教育長あいさつ
- 3 教育委員会、関係課職員の紹介
- 4 議題
 - (1) 令和7年度 教育施策の概要について（教育部長）
 - (2) 令和7年度 当初予算の概要について（教育部長、各課長）
 - (3) 社会教育関係団体補助金について（各課長）
 - (4) 質疑応答

※以下、要旨。表現は簡略化しています。

（A委員）

ソラールに太陽望遠鏡が設置されている。維持費もかかるが、どのように活用されているのか。

（事務局）

防府市には塩田の歴史があり、日照時間が長い地域の特色がある。太陽という自然の恵みを観測できる太陽望遠鏡を設置し、広く市民の方々に活用してもらえるようにしている。

（A委員）

今後も維持されるのなら、毎年学術的な研究・論文が出されるなどしていかないと、高い維持費を払っているのもったいないと思う。

（B委員）

小・中学校において、すべてのトイレを洋式化するのか。

（事務局）

令和5年度から計画的に進めており、今年度完了予定である。中には洋式に抵抗がある児童・生徒もいるので、各校に1つ程度和式も残している。

（B委員）

部活動の地域移行に際して、これまで部活動で使用していた道具等はどのようになるのか。

(事務局)

どこの学校に使用可能な道具等がどの程度あるか把握し、配置していく必要がある。今後も継続的に使用できるように検討していく。

(B委員)

今後検討されるとの事なので、できれば子どもたちが自由に使えるような仕組みを考えてもらいたい。

(B委員)

茜島シーサイドスクール事業について、現在の児童生徒数は何人か。市外から受け入れる児童生徒は、野島に住むことになるのか。

(事務局)

現在の児童生徒数は7名。市外から受け入れる児童生徒が野島に住むことは想定しておらず、JRを使用して防府駅に集合し、市で購入予定のスクールバスで三田尻港まで送迎することを想定している。

(B委員)

雨天で野島に行けない場合はどうするのか。

(事務局)

そのような場合は、向島小学校の教室で学習する。

(C委員)

どの小学校にもインクルーシブ遊具が1つずつ設置されるのか。

(事務局)

1つ以上設置される。学校によってスペースが異なるので、遊具の大きさは異なる。

(D委員)

児童用かばんの使用率はどのくらいか。使用率が上がるような取組はされているのか。

(事務局)

使用率は、学校によって多少異なるが、2～3割程度。ホームページ、SNSを活用した広報を行い、軽い、通気性が良いといったかばんの良さのPRを学校の協力を得ながら進めていく。登下校のみではなく、社会見学等の学校行事でも幅広く活用されるようにしていく。

(D委員)

防府市独自の取組なので、定着すると良いと思う。

(A委員)

市のスポーツ施設について、以前より利用時間等のルールが厳格化している。生涯学習の拠点というより貸館施設という印象を強く感じる。

(事務局)

施設に関しては指定管理者制度で運用しているため、決められたルールの基で運営している。

(A委員)

利用時間に関して、柔軟な対応をお願いしたい。